

平成28年度 事業報告

1. 個別企業支援

- ・個別支援企業数：83社
- ・個別訪問件数：164件
- ・企業連携体組成支援：23件（新規16件、継続7件）

2. ネットワーク形成

①セミナー開催

日時	場所	参加者	内容
H28. 11. 9	グランフロント大阪	177名	CNF用途特許/応用技術セミナー

②連携イベント

CNF 実用化に向けたナノテク施設見学会 ～京大ナノハブ拠点活用による新素材開発～

文科省のJSTが運営する大学にあるナノテク最新機器の活用等を支援するナノテクノロジープラットフォームとの連携により、支援企業に対して、関連機器の見学会、JSTによる個別相談会を開催しました。

日時：平成29年2月23日（金）

場所：京都大学

参加者：約50名



『Nanocellulose Symposium 2017／第311回生存圏シンポジウム』の共催及び展示会開催

公設試験会の成果発表会を行うとともに、企業・研究機関等の展示ブースを設け、CNFに係るポスターや試作品等の展示を行い、研究機関と企業、企業と企業とのマッチング機会を創出しました。

日時：平成29年3月13日（月）

場所：京都テルサ

概要：出展企業 34機関、参加者 約650名

主催：京都大学生存圏研究所、ナノセルロースフォーラム

③CNFに係る公設試験研究者向け勉強会の開催

CNF実用化の橋渡し機関として重要な役割を担う公設試験研究機関の研究者の人材育成のため、CNF研究に取り組む公設試研究者向けの勉強会を開催し、ブロックを越えた広域支援ネットワークを構築しました。

日時	場所	参加者	内容
H28. 8. 1	高知	22名（研究者）	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「CNF製造装置について」及びCNF製造実習 ・関連施設見学 ・CNFを用いたシート作製の再実習 ・意見交換会
H28. 11. 17	愛媛	13名（同）	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「ナノ粒子分析装置の測定原理について」及び測定実習、測定結果報告 ・関連施設見学 ・講義「ガスバリア紙の開発と四国CNFプラットフォームの取組み」 ・意見交換会
H28. 12. 6	兵庫	14名（同）	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「ガスバリア性測定装置について」及び試料測定実習、結果報告 ・関連施設見学 ・自由課題等の進捗状況報告及び意見交換 ・意見交換会
H29. 2. 8	京都	22名（同）	・規定課題・自由課題等の研究報告及び意見交換
H29. 3. 13	京都	650名（一般）	『Nanocellulose Symposium 2017／第311回生存圏シンポジウム』で、全体総括と研究成果発表

④セルロースナノファイバー（CNF）の地域拠点間の相互連携・協力に関する協定の締結

部素材産業-CNF研究会の共同事務局である（地独）京都市産業技術研究所は、広域ネットワークによる連携・協力のもと、CNFの地域展開の強化、加速化を目的として、ふじのくに CNF フォーラム（静岡県）、四国 CNF プラットフォーム（（一財）四国産業・技術振興センター）、ナノセルロースフォーラムの4者間での地域連携協定を平成28年12月8日（木）に締結。



協定締結式の様子

3. その他

CNFに係る不織布、プラスチック、ゴム産業に特化した用途特許調査の実施

CNFの機能、特性及び関連応用分野に着目したデータの抽出、分析、整理を行い、特許情報の解析及びマップ等を作成。また、最近の技術トレンドや未開拓分野の整理を行いました。本調査データは、PM、CDの個別企業支援において活用するとともに、その概要を「CNF用途特許/応用技術セミナー」（H28.11.9開催）において会員企業に情報提供しました。